



議会だより

第十八号

平成8年11月10日

発行／岡垣町議会 編集／議会広報委員会

〒811-42福岡県遠賀郡岡垣町大字野間697-1 TEL(093)282-1211 FAX(093)283-3027



すきとおるような秋空のもとで
岡垣町民のお祭り「まつり岡垣」
が行われました



もくじ

定例会と臨時会の概要 2～3

一般質問 4～7

議会ひろば ほか 8

平成8年第二回定例会

平成8年第三回定例会は、9月4日から20日まで開催されました。

町長からは、行政手続条例の制定、「いこいの里」の福祉・保健情報システムの整備等に伴う一般会計予算の補正、水道事業会計決算認定など十五議案の提案と二件の報告が、議員から第九次治水事業五箇年計画に関する意見書など四議案が提案され、可決十八件、認定一件という結果になりました。

附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例 (可決)

岡垣町イメージづくり委員会では、調査審議が終了したので廃止され、生涯学習によるひとつくり推進計画策定の調査審議をするため、新たに岡垣町ひとつくり推進町民会議が設置されました。

行政手続条例の制定について (可決)

町が行う処分及び届出並びに行政指導に関し、条例が制定され、平成9年1月1日より行政運営における公正の確保と透明性の向上を図られるようになりました。

乳幼児医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例 (可決)

重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例 (可決)

母子家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例 (可決)

三つの議案は健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法の一部が改正されたことに伴い、条文の整理がされました。

非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例

非常勤消防団員の処遇改善を図るため、消防団員に対する退職報償金の支給額を改正するための条例の改正です。

この改正によって、退職報奨金が五千円、団長の場合(勤務年数30年以上)は一万円引き上げられました。なお、適用は平成8年4月1日からです。

一般会計補正予算(第2号) (可決)

今回は、中間市のごみ処理加入に伴う戸切区・戸切百合野区に対する周辺対策事業、「いこいの里」福祉・保健情報システムの整備、県道野間く須恵線の改良に伴う一部用途が廃止されるゼゼ町ため池の地元水利組合に対する補償費や、適正な定員管理を行うための行政診断委託などに伴う予算補正です。

これにより、歳入歳出と

もに二億六千九百二十九万五千円が増額され、予算総額は八十五億九千三百八十二万八千円となりました。

公共下水道事業特別会計補正予算(第1号) (可決)

今回は、吉木第二汚水幹線測量調査設計及び矢矧第二排水区雨水管渠測量調査設計などの予算補正です。

これにより、歳入歳出それぞれ二千四百万円が増額され、予算総額は十二億九千六百十三万円となりました。

水道事業会計決算認定について (認定)

平成7年度の水道事業の成果を示したものです。収益的収入は四億四千七百七十五万円、収益的支出は四億二千五百三十七万八千円となり、一千六百三十七万二千円の純益です。

資本的収入は一億一千九百八十八万五千円、資本的支出は二億二百六十四万三千円となっています。

資本的収入に対する資本的支出の不足額八千三百四十五万八千円は、内部留保

資金と建設改良積立金等で補てんしています。

監査委員は審査意見書の中で、「本年は、有収率が過去最高であった前年度より一・一ポイント向上し八六・六%となり、公営企業年鑑指標の八三・六%をも上回っており、漏水防止を積極的に行なった結果であると評価する一方、経営利益は年々減少傾向にある。有収率を高めることは水道事業にとつては健全運営につながるものであるので、今後とも有収率の向上、諸経費の節減に努めていただきます。」と述べています。

旧慣による公有財産の用途廃止について (可決)

県道野間く須恵線の起点部がカーブで見通しが悪く狭いので、ゼゼ町ため池の一部が用途廃止され、道路拡幅工事が行われます。

道路線の認定について (可決)

今回の認定路線は、岡垣サンリーアイ前の宅地開発による帰属を受けた道路です。

幅員六メートル、総延長五千五百八十三メートルが認定されました。

吉木第六汚水幹線(その1)管渠築造工事請負契約について (可決)

今年7月の臨時会で議決した、吉木第六汚水幹線(その2)の下流約三百三十メートルの工事が行われます。工事費は九千二百五十万円です。

下持田下池改修工事請負契約について (可決)

戸切区にある下持田下池は老朽化のため、漏水が著しく決壊の恐れがあり危険であるため、改修工事が行われます。工事費は五千九百五十三万四千円です。

赤井手源十郎線橋梁工事請負契約について (可決)

都市計画道路赤井手十郎線の矢矧川橋梁架設工事が行われます。工事費は一億四千九百三十五万円です。

都市計画公園せせらぎ緑道

整備工事請負契約について

(可決)

岡垣サンリーアイ前の宅地造成地の北側を流れる、裏田川沿岸を緑道として延長八百四十メートルが整備されます。工事費は一億六千六十八万円です。

財団法人岡垣サンリーアイ管理公社決算報告について

(報告)

平成7年度は文化講演会や文化講座及び各種イベントが開催され、施設利用者は、昨年より八千人増の十六万三千人で、施設使用料は二千六十三万六千円となりました。

また、韓国との国際交流フェスティバルが開催されるなど、国際的な文化交流も深められました。

今後、生涯学習の拠点施設として、文化交流や文化講座の企画でより町民に利用しやすく、役立つ施設へ向けて努力していくとの決意が示されました。

専決処分の報告について

特定地域開発就労事業

本村く岸元線道路改良工事

請負契約の変更

(報告)

平成8年4月18日で議決されたこの工事請負契約は、補助事業単価の改正により契約金額を八十四万三千元増額したと報告されました。

第9次治水事業五箇年計画に関する意見書 (可決)

災害のないまちづくりを進めることは町民一人一人の強い要望であります。よって、平成9年度を初年度とする第9次治水事業五箇年計画に、投資規模の積極的な拡大や治水事業を強力に推進されるよう強く要望する意見書を政府に提出しました。

また、韓国との国際交流フェスティバルが開催されるなど、国際的な文化交流も深められました。

道路特定財源の確保に関する意見書 (可決)

活力ある地域づくりや豊かな暮らしづくりを支援するためには、道路網の整備をより一層推進することが是非とも必要であり、そのための財源確保を強く要望する意見書を政府に提出しました。

産炭地域指定基準の見直し並びに「石特会計」の予算確保に関する意見書

(可決)

旧産炭地域指定の見直し基準の見直しや、石特会計による「石炭勘定」予算の所要額を確保することを強く要望する意見書を政府に提出しました。

公立学校事務職員・同栄養職員給与費の義務教育費国庫負担制度堅持を求める意見書 (可決)

義務教育費国庫負担制度の主旨にのっとり、学校事務職員や栄養職員の国庫負担制度を堅持し、見直しを行わないよう強く求める意見書を政府に提出しました。

請願・陳情

本定例会に提出された請願は二件、陳情は一件で合計三件の審議を行い、請願一件は採択、ほかは継続審査という結果になりました。採択となった請願に伴う意見書は可決され、内閣総

理大臣をはじめ関係機関に送付しました。

公立学校事務職員・同栄養職員給与費の国庫負担制度堅持に関する請願 (採択)

公共施設の配置についての陳情 (継続審査)

精神障害者の福祉施策充実に関する請願書 (継続審査)

臨時会

平成8年第五回臨時会が10月18日に開催され、町長から助役の選任など四議案、議会から意見書一議案が提案され、すべて可決されました。

また、急施事件の請願一件が審議され、採択となりました。

助役の選任について

(同意)



任期満了により、前助役の早川達生氏が再任されました。

平成12年10月まで、町長の補佐や補助機関たる職員の担任する事務の監督にあたっていただきます。

収入役の選任について

(同意)



吉田収入役の任期満了により、総務課長の宗岡隆氏が収入役に就任されました。

平成12年10月まで、現金の出納及び保管や財産の記録管理にあたっていただきます。

専決処分の承認を求めるとについて

岡垣町一般会計補正予算(第3号) (承認)

衆議院議員総選挙並びに最高裁判所裁判官国民審査の実施にともなう補正予算です。歳入歳出それぞれ一千八

万円が増額され、予算総額は八十六億三百九十八万八千円となりました。

岡垣町一般会計補正予算(第4号) (可決)

岡城築城五百年記念事業の実施などによる補正予算です。歳入歳出それぞれ二千八百九十万二千円が増額され、予算総額は八十六億三千二百八十一万円となりました。

病原性大腸菌O-157に係る野菜の安全宣言及びカイワレ業者の経営回復の為に支援策を要求する意見書の提出を求める請願 (採択)

一日も早く消費者の野菜に対する安全感の回復や、カイワレ業者等の経営回復の為に支援策を講じられるよう強く要望する意見書を、厚生大臣をはじめ政府に提出しました。

一般質問

竹内 和男 議員



食中毒対策について

質問 病原性大腸菌O-157に関する安全性はどのようなになっているのか。

万全を期するための指導、管理を行う

答弁 町内の学校、保育所において調理員の検便等による健康チェック、調理場内の清掃、消毒及び設備、備品等の洗浄、消毒など衛生管理の徹底や、子供達の手洗いの励行、チラシによる父母等への啓発、さらに、調理員等の研修を行っている。

カイワレ生産者に対する支援について

質問 感染源やルートの究明過程で、政府の不用意な発言がもとで、カイワレ生産者が経済的な打撃を受けているが、どのような見解をもっておられるのか。

助成等を検討したい

答弁 生産者より当面の運転資金の助成の申し出があり、8月13日には県農政

の調査団と町が合同で現地調査したところである。経済的打撃が大きいので、行政サイドの助成や融資等を考えたい。

陳情、請願、要望の対応は

質問 陳情等に対する回答は、出来るだけ早く文章で回答すべきだがどうか。

出来る限り努力する

答弁 緊急性等を勘案しながら対応するが、軽微なものも口頭で回答し、大きな案件等については文章で回答しており、今後は出来る

だけ早急に回答するよう努力したい。

矢島 恵子 議員



少子化の中での教育環境について

質問 少子化現象のなかで一部地区に大型団地が出来ているが、児童生徒の教育環境の平等化という観点から、学校規模と児童数の現状と将来をどう考えるのか。

地域に根ざした環境づくりを大切にしたい

答弁 本年5月一千八百七十一名の児童数が、平成13年には推定六百名ほど減少の見込みである。

各学校共に、学習環境や施設の充実等には、多少の差は有るが、学校規模に応じた利点を大切にしたい。学校は地域に根ざしたものであり、地域住民の感情を



児童数が減りつづける戸切小学校

大切にしたい。学校の統合は慎重に対処したい。

質問 児童数の減少にともなう空き教室の有効利用の考えは。

答弁 教材室や、地域の人達が生涯学習の拠点として体験学習等を通して、ふれあいの場として有効活用が出来るように考えている。

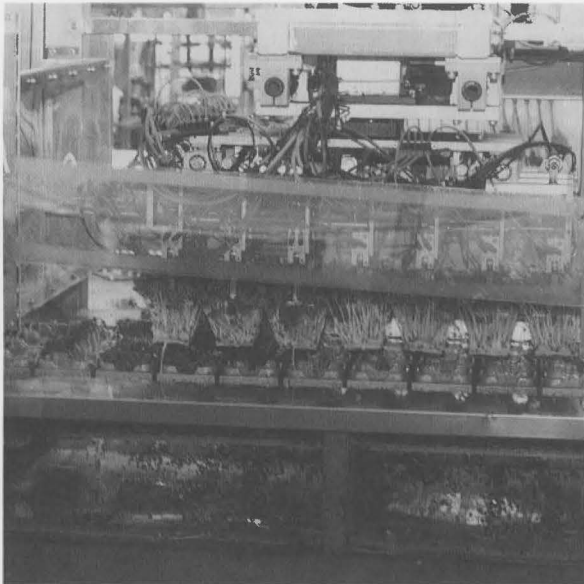
教育委員の任命について

質問 学校区制ではなく全町的な立場から教育委員の任命は出来ないか。

全町的な視野で考えていく

答弁 教育委員は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」にそって、議会の同意を得て町長が任命するものである。

慣習で校区制で任命していたが、教育委員は全町的なものである。校区制よりも適任者がいれば、広く全町的な視野で選ぶのが一番良いことと思っている。



早く活気を取り戻して欲しいカイワレの出荷状況

細川 光利 議員



国際交流事業の促進について

質問 国際化時代の到来により、地方自治体においても、各種交流事業を行っているところである。

町総合計画でも、地域活性化を図るため、町ぐるみで国際交流を推進すると明記しているが、国際交流基本計画は策定されているか。推進体制の整備に努めている

答弁 岡垣町国際交流推進計画を平成6年7月に策定し、その中で国際交流の基本方針を掲げ、推進体制の整備に努めている。質問 同計画書によると国際交流協会の設立とあるが、いつ設立するのか。答弁 国際交流協会の設置



岡垣町と韓国城南市で交互に開催されている少年剣士達の親善合同練習風景（今年も岡垣町にて開催）

に向けての調査をし、他町村の状況も検討しながら、平成9年度には国際交流協会を設立したいと思う。

記念品を作るべきだ

質問 町内の民間団体及び町民の段階で国際的な交流をいろいろされているが、こういうものを十分掌握し、今後の国際交流の基礎づくりとして行政は検討されているか。

答弁 民間団体などの方で国際交流を進めているのかを説明し、事業実施上の問題は話し合いを通じて支援していくというのが

作りたいと考えている

答弁 十分検討して、記念品になるようなものを作成を考えたい。

首宮 良寿 議員



岡垣の山林・緑をどう守るのか

質問 現在、木材の自給率は30%未満であり、それに追い討ちをかけるような先年の台風による山林被害などにより林業は疲弊している。

林業の振興なくして、将来のこの町の水源確保・環境保護・緑の保全は図れないと思うが、その視点での行政施策・支援策をどのようにすすめて行くのか。

啓発活動と特用林産品の振興を図る

答弁 森林は木材生産、国土の保全、水源涵養など、その公益的機能を金額に換算すると約二十九兆円と言われている。これら森林の大切さを町

民の方々に理解していただきながら、緑の募金、緑化事業等を通じて林業振興に取り組みたい。

また、木炭を通じて緑と親しむという観点から、森林組合に移動式炭焼き窯を購入し、貸出しを行ってゆく。

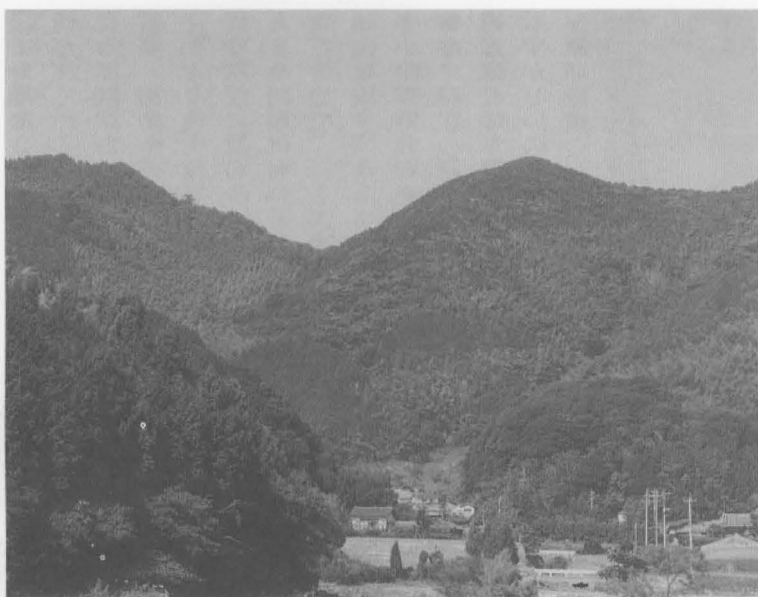
また、地域の特色を生かした林産物の生産・加工・出荷・販売のための施設整備補助事業等、森林組合を中心に振興策に取り組みたい。

緑と親しむキャンプ場の計画はないか

質問 山は、水源の森、環境保護の要である。その緑と身近に接するための、体験学習宿泊施設を建設する計画はないか。

構想の中で考えたい

答弁 町有林が散在しており、今のところ具体的な計画はないが、西部地区観光施設等基本構想の中で考えたい。



緑の山々に包まれた上高倉地区

久保田秀昭 議員



町行政の信頼性確保について

質問 町民は正確に課税されていると町を信頼し、納税している。

町行政の信頼性確保についての考えを問う。

公平制を失うことを行っていない

答弁 税は町の歳入の根幹であり、広く町民の方々に負担をお願いする以上公平制を失うことなく、課税事務等を行っている。

質問 年間のどの位の課税ミスが判明しているのか。

答弁 確定申告時の更正(過去5年間)などによる予算還付は、6年度53件、7年度48件である。

現年度還付は6年度33件、7年度は26件で、うち



税務相談に対応する税務課職員

職員の電算入力ミスは6年度2件、7年度は5件になっている。

職員へのミスは注意していれば防げるミスなので、今後指導して行きたい。

苦情の対応は

質問 住民からの苦情の問い合わせの対応はどのようになっているか。

接客態度に気を付けている

答弁 早急に結論は出さずに十分納税者の方の言い分を聞いて、課税台帳を照合しながら説明している。

接客の態度に十分気を付けるよう指導している。

質問 先日の苦情内容で扶養控除等の入力ミスという回答だが、電算での入力チェックはしているのか。

答弁 単純な数字の間違いはチェック出来ないが、内容チェックはしている。

質問 苦情処理は、内容を根本から調査をし、原因解明をきちんとして相手が納得いく説明をすることが大切である。

100%ミスをなくす努力が必要ではないか。

答弁 十分注意をしながら対応したい。

山田 隆一 議員



地元産品を学校給食へ取り入れる考えは

質問 地元産品、特に地元産米を学校給食に取り入れる考えはないか。

制度上むずかしい

答弁 かねてから地元産米を使用したいという思いはあるが、制度上むずかしい。

質問 平成8年度5月10日付け、文部省通達で学校給食に自主流通米使用の通達が来ているが、この点についてどう考えられるか。

答弁 文部省通達は承知しているが、地元産米を使用するには問題点がある。

地元農協から調達出来るようになったが、農協は郡内の米をブレンドするので、岡垣町の米だけ使用するの

は不可能である。

また補助金の関係で、米代が高くつくし、安定供給にも問題がある。

質問 補助金の問題では、従来より自主流通米使用可能な状況に変わっており、あまり問題はないと思う。現在各地で、自主流通米を給食に取り入れる自治体が多い中、町の考えは。

答弁 現在の制度では岡垣町産米だけを使用するのはむずかしいので、補助制度や流通機構の改革を国に働きかけたい。

また、補助金なしでやれば出来るが、町持ち出しが三百万円以上掛かる。

質問 地元で取れる米を子供達に味わってもらおうのは、とても良い事だと思う。地元の農家が日々汗を流して育てたおいしい米を、感謝して食べるということは情操教育上大切なことと思う。

是非とも早急に実施されるよう要望する。

新鮮な地元農産品の使用が望まれる学校給食風景



新鮮な地元農産品の使用が望まれる学校給食風景

平山 弘 議員



街灯や防犯灯の設置基準及び計画は

質問 町民が安心して往來し生活できる、犯罪のない明るい町づくりを進めて行かねばならないし、進められていと思うが、街灯や防犯灯の設置基準はどうなっているのか。

一定の基準に基づき実施する

答弁 町は学校や公共施設の周辺、通学路、町道で多くの人が利用し、防犯上危険と思われるところに対し設置している。

自治区内の防犯灯はその自治区が環境浄化をするために設置され、町はその工事費の半額を助成している。今後は、不特定多数の人が利用される公共施設や幹



東中学校の通学路に設置してある街灯

〇一五七・食中毒対策に万全を

線道路等、一定の基準で実施していく。

質問 食中毒の多い季節、安全な給食のため努力されている調理員をはじめ関係者の皆さんに敬意を表します。

今後、食中毒防止策として、施設・設備、食材購入、人員配置など条件整備が必要と思うが。

施設・設備の改善を進めたい

答弁 文部省の指導に基づいて、施設・設備の改善を進めている。

給食調理員は配置基準に達しているが、栄養士については、基準では二名のところを一名しか配置されていないので、毎年、県に増員要求している。今後も強く求めていく。

竹井 信正 議員



行財政の健全運営について

質問 第三次総合計画の後期計画で、ひとづくり、まちづくりが進められる中、行財政の健全運営について、どのように行政改革を進め、行政組織の活性化を図ろうとしているのか。

組織・機構等の見直しを実施する

答弁 後期計画の中で、行政課題や町民の多様なニーズに即応した行政サービスが出来るよう、スクラップ・アンド・ビルドの徹底を図り、現状の組織、機構の見直しを実施する。

現在、職員配置の行政診断を計画している。質問 行政診断の実施時期はいつになるのか。



案内係の設置が望まれる役場玄関ロビー

案内係りは配置出来ないか

質問 行革によって、住民サービスが低下したり、業務量の増加により職員の健康障害があつてはならない。

そのために、住民サービスとして、役場玄関ロビーに住民が利用しやすいように、案内係りの配置は出来ないか。

検討したい

答弁 住民が利用しやすいように、あらゆる角度から検討してみたい。

答弁 10月に各課の事務量調査を行い、また類似団体等も調査検討しながら、平成9年3月までに完了したいと思つている。質問 人事管理はどのような形になっているのか。答弁 職員の資質の向上のために職員研修所における各種研修や、町独自の研修を行っている。また、職員の健康管理においては、業務量の増加に伴い、ストレス等の健康障害が見受けられるので、発生を防ぐために、定期健康診断、ストレッチ健康相談等を定期的に実施している。

議会ひろば

郡議員研修会を開催

去る10月16日芦屋町総合体育館で、遠賀郡議長会主催による議員研修会が開催されました。

講師はテレビでもおなじみの政治評論家の内田健三氏で「総選挙予測とその後の政局」と言う演題で二時間にわたり講演されました。

この研修会には、議員の他にも各町の管理職や附属機関の委員さん方も参加されていましたが、衆議院選挙の真つ最中で関心も高く、熱心に聞いておられました。

ただ、選挙運動期間中で、選挙妨害になる恐れがあったため一刀両断とはいかず、多少歯切れの悪かったのは残念です。

午後、郡内議会の親睦を深めるため、ソフトボールの試合が行われました。我が岡垣町議会チームは、

優勝戦に駒を進めましたが、善戦むなしく11対10で準優勝となりました。

追伸(他の議会から「決勝戦によく行けたなあ。番狂わせばい。」の声もあり。)



スポーツ体験コーナーで一日を満喫される家族づれ

まつり岡垣の開催

晴れ渡る秋空のもと、岡垣町の一大イベントであるまつり岡垣が、10月20日午前九時から午後三時までサンリーアイで行われました。

午前九時に海老津駅からサンリーアイまでパレードが行われ、町長・議長をはじめとする町四役や各議員を先頭に、岡垣中学校の吹奏楽団、西日本銀行のバトンガール、各小学校区の子供神輿、その後に区長会など多数の団体が参加して、延々三キロの道のりを、沿

道の歓声を受けながら、約四十分かけてサンリーアイに到着しました。

会場には、はち切れんばかりの人出の中、午前十時に開会式が行われ、来賓挨拶では特に議長の声が秋ぞらに響き渡っていました。

イベント会場では、こどもフェスティバルや創作太鼓の岡垣海鳴り太鼓の競演など、秋祭りにふさわしい催しが行われました。

おとずれた家族連れの皆さんは、秋晴れの一日を満喫され、また来年に思いをよせながら、まつり岡垣は盛況のうちに終了しました。

播磨町議会来町

去る10月1日、兵庫県播磨町議会総合文化センター建設特別委員会の一行十名が、岡垣サンリーアイの視察のため来町されました。

播磨町は、文化センター建設計画の真つ最中であり熱心に説明に聞き入り、又質問も数多く出されました。

帰り際の雑談の中で「岡垣は女性議員はたった一人ですか。私のところは五人ですよ。」と女性の少なさに仰天。

【岡垣女性の奮起を乞う。】



視察研修風景

編集後記

衆議院議員総選挙が10月20日、初めての小選挙区比例並列制の基で行われ、国民も戸惑った事だろう。

国政の場が、ねじれ現象を起している今日、政界再々編が行われようとしているが、何回かしているうちに、安定政権が生まれる事と思う。

当選された各国会議員が公約実現のため、どんな活動をするのか、我々は見きわめる責任があると思う。高福祉、高負担は避けて通れない問題だと思いが、税金は安い方がよい。

一方、事業は住民の要求通り沢山して欲しい。これは人間の欲望であり、又理想である。しかし、現実はなかなか難しい。

この理想と現実を、今一度考えてみてはいかがでしょうか。 <勢屋康一>

議会広報委員会

- 委員長 勢屋康一
- 委員 大森忠勝
- 委員 竹井信正
- 委員 中村信光
- 委員 竹内和男